

関連科目（資格関連科目）	クラス	科目コード	配当年次	期間	人数制限
子ども家庭支援の心理学		17763	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
島田 麻美子	選択	2	臨床心理士、公認心理師		

## 授業の到達目標

生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。子どもの精神保健とその課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

## 授業の概要

生涯発達という視点から、発達の諸特徴や発達課題、初期経験の重要性について学ぶ。また、社会や文化の時代的変化とともに変容し、多様化してきた家族・家庭について理解を深める。保育者として、人の生涯発達について理解した上で、家庭の持つ意味と現状、そしてさまざまな課題を抱える子どもや家庭の理解と支援につながる力を身につけることを目指す。テーマに関連する事例を挙げ、具体的な支援場面へどうつなげていくかを考える。

## 授業計画

- 1 オリエンテーション、生涯発達とは
- 2 乳幼児期から学童期前期にかけての発達
- 3 学童期後期から青年期にかけての発達
- 4 成人期から老年期にかけての発達
- 5 家族関係・親子関係の理解
- 6 子育ての経験と親としての育ち
- 7 子育てを取り巻く社会的状況
- 8 ライフコースと仕事・子育て
- 9 多様な家庭とその理解
- 10 特別な配慮を要する家庭への支援①
- 11 特別な配慮を要する家庭への支援②
- 12 子どもの精神保健とその課題
- 13 子どもの生活・生育環境とその影響
- 14 子どもの心の健康にかかわる問題
- 15まとめ

## 授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

グループ発表後は、担当教員よりフィードバックを行う。  
平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

## 欠席について

学内の規定に従う。

## テキスト

適宜プリントを配布する。

## 参考図書

原信夫・井上美鈴編著『子ども家庭支援の心理学』北樹出版  
松本園子他『子ども家庭支援の心理学』なみ書房

関連科目（資格関連科目）	クラス	科目コード	配当年次	期間	人数制限
子育て支援		17768	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士	私立保育園保育士	

## 授業の到達目標

保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者支援（相談、助言、情報提供、行動見本の掲示等の支援）  
(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。  
保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例を通して具体的に理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）I（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

## 授業の概要

保育士の行う子育て支援の特性を理解し、実践事例を考察しながら、保育士の行う子育て支援の展開として、支援計画や環境構成、支援の実際・記録・評価・カンファレンスについて理解を深める。また、保育士の行う子育て支援とその実際として具体例を挙げ、双方の討議を取り入れて意見交換できるようにする。様々な子どもに対する対応やその家庭に対する支援について理解する。まとめとして、「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点からこれから子育て支援について考察する。

## 授業計画

- 1 保育所・幼稚園・認定こども園における子育て支援の必要性
- 2 子育て支援の基本について
- 3 環境構成を活用した子育て支援
- 4 子育て支援のむずかしさ
- 5 保育者の「役割の二重性」と子育て支援の葛藤
- 6 「子どもの最善の利益」を保障するための6つの視点
- 7 保育士の行う子育て支援の実際
- 8まとめ 定期試験

## 授業の方法

保育実践の事例を取り入れ講義を行う。グループ討議等を行い、課題意識を持って主体的に取り組めるようにする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点40% 課題レポート10% 定期試験50%

## 欠席について

欠席1回につき3点、遅刻1回につき1点の減点とする。

## テキスト

「保育の専門性を生かした子育て支援」わかば社

## 参考図書

授業内で紹介する。

## 留意事項

毎回の出席と主体的な取り組みを心がけること。地域の子育て支援について調べておくこと。

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。